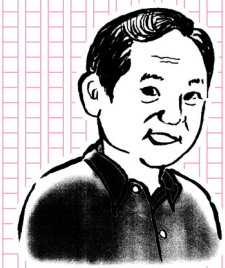

町長エッセイ

今年も１月１１日、リリックおがわを会場に成人式が開催され、小川町から３３６名の若者が大人の仲間入りをしました。

父母や恩師らが見守る中で新成人代表によって式典が進められ、晴れ着で華やいでいた会場は、凛とした雰囲気につつまれました。

少子高齢化を始め、今後直面するであろう多くの問題に、新成人の皆さんが、新しい感覚と情熱をもって立ち向かってくれることを願いました。

そして今年はいつもと違ったコーナーがありました。昨年１１月、小川町を中心に長い歴史を重ねてきた手漉き和紙の技術が、ユネスコの無形文化遺産登録されたことは皆さんご承知のとおりです。

成人式実行委員会では「この技術を次の世代に繋げることに役立てて欲しい」と募金活動を行いました。「中学校の卒業証書は自分たちで漉いた和紙です。故郷の宝を守るために何ができるかを皆で考えました」と話す青年たちと共に、ふるさと小川町を発展させたいと感じた成人式でした。